

警告 安全のために

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



警告



火災



感電

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止

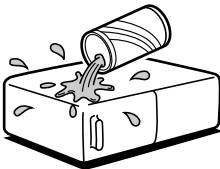


内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止

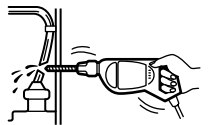


パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。



禁止

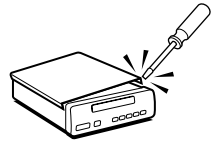


分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

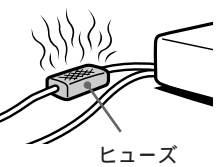


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



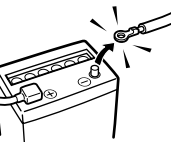
ヒューズ

配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



禁止



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

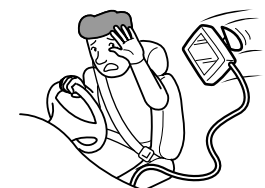
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、不安定な場所などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

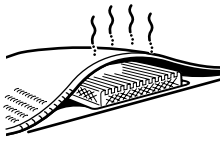


本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止



SONY®

アクティブサブウーファー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

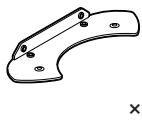
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この取扱説明書に従って、正しく取り付けを行ってください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XS-TL1

Sony Corporation ©1997 Printed in Japan

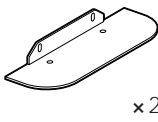
取り付け / 接続部品 (付属品)

① 取付金具



×2

② 固定金具



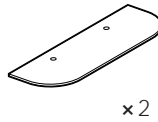
×2

③ M5 ネジ



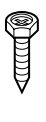
×4

④ 接着シート



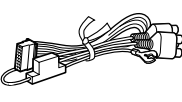
×2

⑤ φ5 タッピングネジ



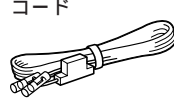
×4

⑥ 電源コード



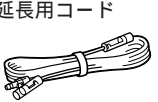
×1

⑦ 電源延長用コード



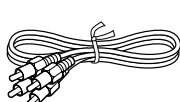
7m×1

⑧ アンプリモート延長用コード



5m×1

⑨ RCAピンコード



5.5m×1

主な特長

- 高剛性アルミコーン採用16cmサブウーファーユニット
- 最大出力100Wの新開発PWMアンプ搭載
- 縦置き、横置きのどちらにも対応する取り付け金具付属
- 純正カーオーディオにも接続可能なハイレベルインプット対応

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカーオーディオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ 東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

*E-3-860-374-0

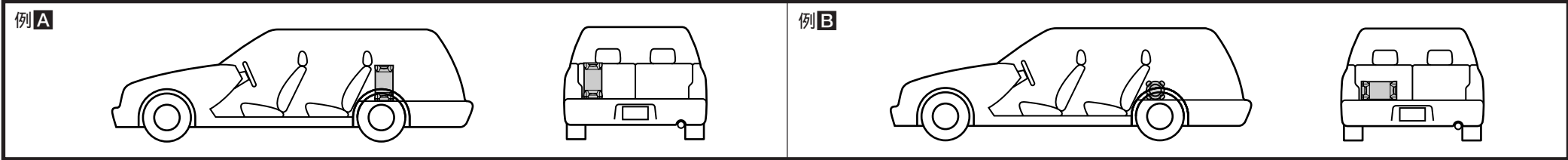
取り付け

取り付ける前に

- 次のような場所への取り付けはお避けください。
 - ― 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
 - ― 雨が吹き込んだり、水がかかったりする場所や湿気の多いところ
 - ― ほこりの多いところ
 - 本機をラジオやアンテナの本体および配線の近くに取り付けると、ラジオやテレビ放送の受信に障害をおよぼすことがあります。本機を取り付ける際は50cm以上離してください。
- 車の運転の妨げにならない場所、非常時などの際に同乗者に危険を与えるおそれのない場所を選び、付属の取り付け金具を使ってしっかりと取り付けてください。
 - 本機を取り付ける、十分な厚み(18mm以上)と強度をもつ取り付け板をご用意ください。

ご自分ででの取り付け、接続が難しい場合は、お買い上げ店、またはカーディラーにご相談ください。

取り付け場所



取り付けかた

A 垂直に取り付ける場合

1 本体の取り付け位置を決め、本体のネジで取付金具①を固定します。

2 取り付けネジ③で固定金具②を本体に仮止めします。カーペットを外して接着シート④で本体を取り付け板*に仮置きします。

3 本体を固定金具②より取り外します。固定金具②のネジ穴の位置に合わせて取り付け板に下穴を開けます。

4 固定金具②をタッピングネジ⑤で取り付け板に固定します。

5 取り付け位置に取り付け板を置きます。カーペットを戻しながらカッターなどで切り込みを入れ、固定金具②を表へ出します。

6 本体を取り付けネジ③で固定金具②に取り付けます。

B 水平に取り付ける場合

1 本体の取り付け位置を決め、本体のネジで取付金具①を固定します。

2 取り付けネジ③で固定金具②を本体に仮止めします。カーペットを外して接着シート④で本体を取り付け板*に仮置きします。

3 本体を固定金具②より取り外します。固定金具②のネジ穴の位置に合わせて取り付け板に下穴を開けます。

4 固定金具②をタッピングネジ⑤で取り付け板に固定します。

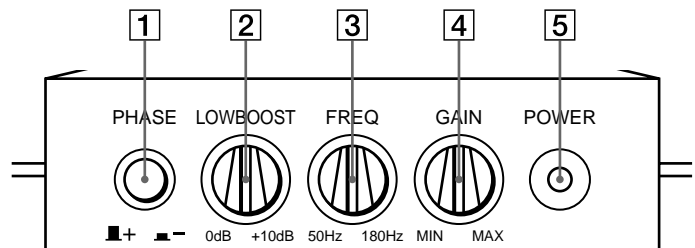
5 取り付け位置に取り付け板を置きます。カーペットを戻しながらカッターなどで切り込みを入れ、固定金具②を表へ出します。

6 本体を取り付けネジ③で固定金具②に取り付けます。

お使いになる前に

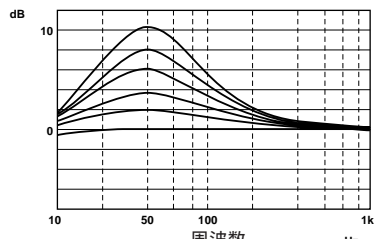
- 本機は12ボルトマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24ボルト車ではご使用になれません。
- 窓を閉めきった自動車を直射日光下に放置すると、車内は相当な高温になります。このようなときは、車内の温度を下げてからご使用ください。
- 弱ったバッテリーでご使用にならないでください。本機の性能は電源の状況に左右されるため、十分に性能を発揮できません。
- 安全のため、運転中は車外の音が十分に聞こえる音量でご使用ください。
- 初めて使う時や、自動車のバッテリーを交換した時は、本機のPOWER インジケーターが10秒ほど点灯し、機能チェックを行います。

各部の名称と働き

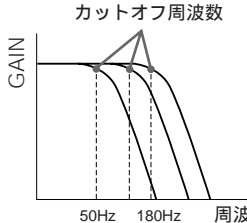


1 PHASE(位相)切り換えスイッチ
お手持ちのシステムに合わせ低音が増すほうに切り換えてご使用ください。

2 LOWBOOST(低音増強)つまみ
低域の出力レベルを調節することができます。50Hz付近の周波数の音を最大10dBまで増幅します。



3 FREQ(カットオフ周波数)設定つまみ
カットオフ周波数(50~180Hz)を設定します。



4 GAIN(音量)調整つまみ
本機の音量のみを調節します。他のスピーカーの音量には影響を与えません。

5 POWER(電源)インジケーター
電源が入ると点灯します。

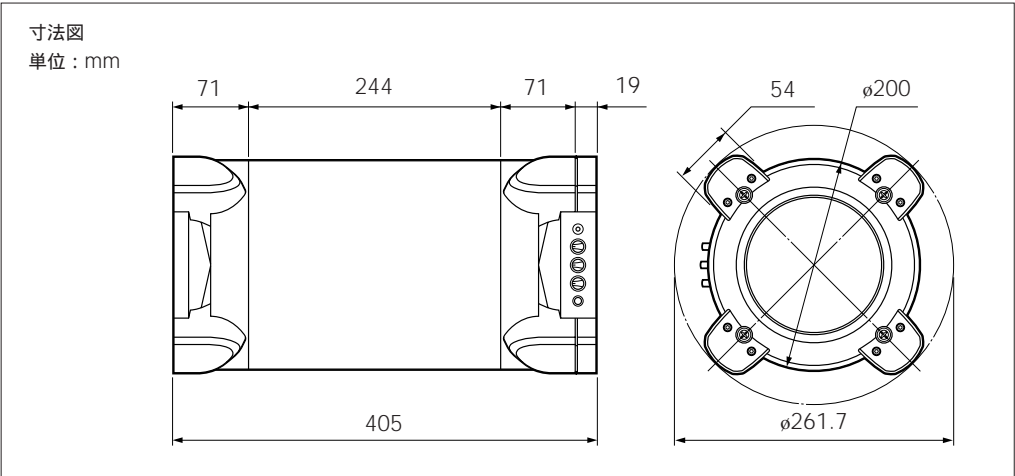
故障かな？と思ったら

症状	原因(処置)
POWER インジケーターが点灯しない。	ヒューズが切れている。→ヒューズを交換する。 アースコードが接続されていない。→車体の金属部にしっかり接続する。 <ul style="list-style-type: none">• 本機のリモート端子への入力電圧が発生していない(または低い)。• 接続しているカーオーディオの電源が入っていない。 →電源を入れる。
オルタネーターの雑音が入る。	バッテリーの電圧が適切であるか(10.5~16.0V)確認する。 電源コードがRCAピンコードに近い。→RCAピンコードから離す。 RCAピンコードが車両ハーネスに近い。→離して配線する。 アースが不十分である。→車体の金属部にしっかり接続する。
音が小さい。	GAINつまみが「MIN」になっている。

以上の処置を行っても効果が得られないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

スピーカー部		カットオフ周波数	50~180 Hz
形式	16 cm コーン型	ローブースト	0~10 dB(50 Hz)
振動板	アルミニウム	電源	DC 12 V カーバッテリー (マイナスアース)
インピーダンス	1 Ω	消費電流	5 A (定格出力時)
アンプ部		システム部	
回路方式	PWM(Pulse Width Modulation)	周波数特性	35~200 Hz
入力コネクター	RCAピンジャック、 ハイレベルインプット	質量	約 3.6 kg(付属品含まず)
出力コネクター	RCAピンジャック (スルーアウト)	付属品	取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
最大出力	100 W	別売品	電源コード RC-46
定格出力	50 W(THD 1%)		RCAピンコード
入力感度	0.2~2.0 V (RCAピンジャック使用時) 0.8~8.0 V (ハイレベルインプット使用時)		RC-63 (1m)、RC-64 (2m)、 RC-65 (5m)



本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

接続

必ず接続先の機器に付属する取扱説明書と合わせてお読みください。

接続する前に

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- RCAピンコード、スピーカーコードと電源コードを近づけて配線するとノイズの原因になることがありますので、できるだけ離して配線してください。
- 接続が終わったら、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどのすべての電装品が正しく作動することを確認してください。

ショート事故を防ぐために

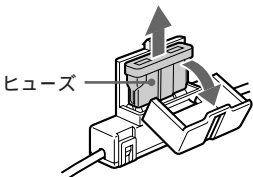
本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションをOFFにして、すべての配線を済ませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の故障の原因となります。万一、先に電源コードを接続しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子を外してください。

ご注意

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けある車では、バッテリーのマイナス端子を外すとこれらのコンピューターメモリーの内容がすべて消えてしまうことがあります。

ヒューズ

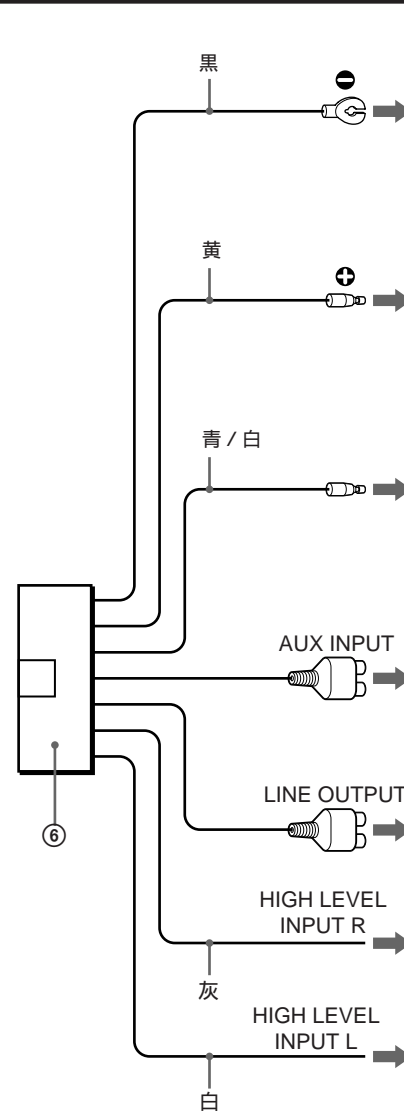
- ショートしたときや、本機に故障があるときは、ヒューズが切れ、本機に過大電流が流れることを防ぎます。ヒューズが切れた場合は、電源コード、アースコードの接続を再確認してからヒューズを交換してください。交換したあともすぐ切れる場合は、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- カーオーディオから電源をとる場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合は、別売りの電源コードRC-46を使用し、バッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じたとき、車両のヒューズが先に切れ他の機器が機能しなくなります。



ご注意

指定されたアンペア数以外のヒューズはお使いにならないでください。故障の原因になります。

電源コードの色分け



黒 → 車体の金属部分へ
ご注意
黄色コードを接続する前にアースしてください。

黄 → バッテリー電源へ(常時通電している電源へ)
ご注意
必ず先に黒色コードをアースしてから接続してください。

青 / 白 → アンプリモート出力端子へ
ご注意
純正カーオーディオなどでアンプリモート出力端子がない場合は、アクセサリ電源に接続してください。

AUX INPUT → カーオーディオのPREOUT、LINE OUT (音声出力端子) へ(RCAピンコード使用)

LINE OUTPUT → 別売りパワーアンプなどのINPUT、LINE IN (音声入力端子) へ(RCAピンコード使用)

HIGH LEVEL INPUT R → 右スピーカーへ

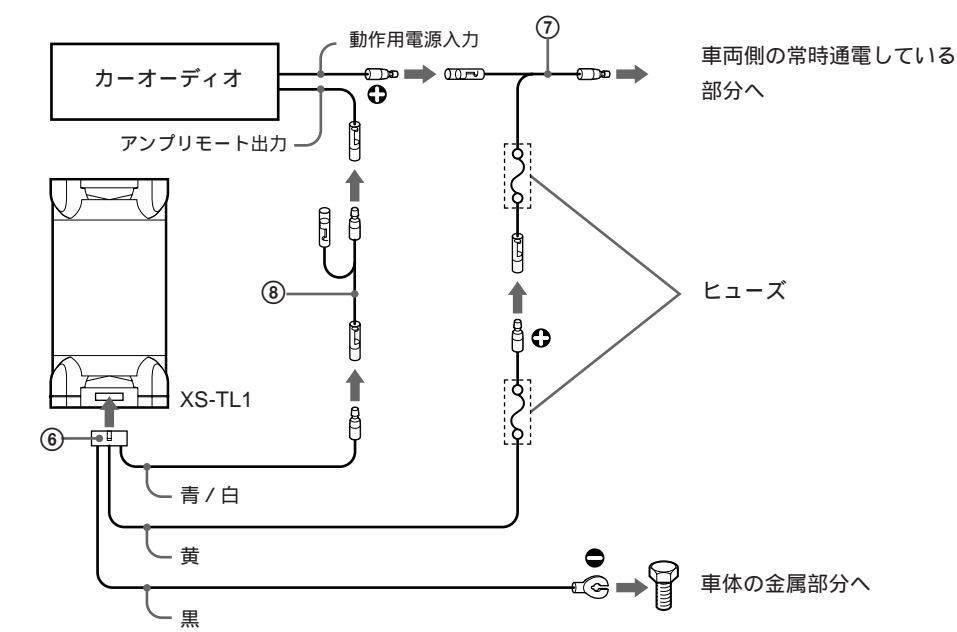
HIGH LEVEL INPUT L → 左スピーカーへ

⑥

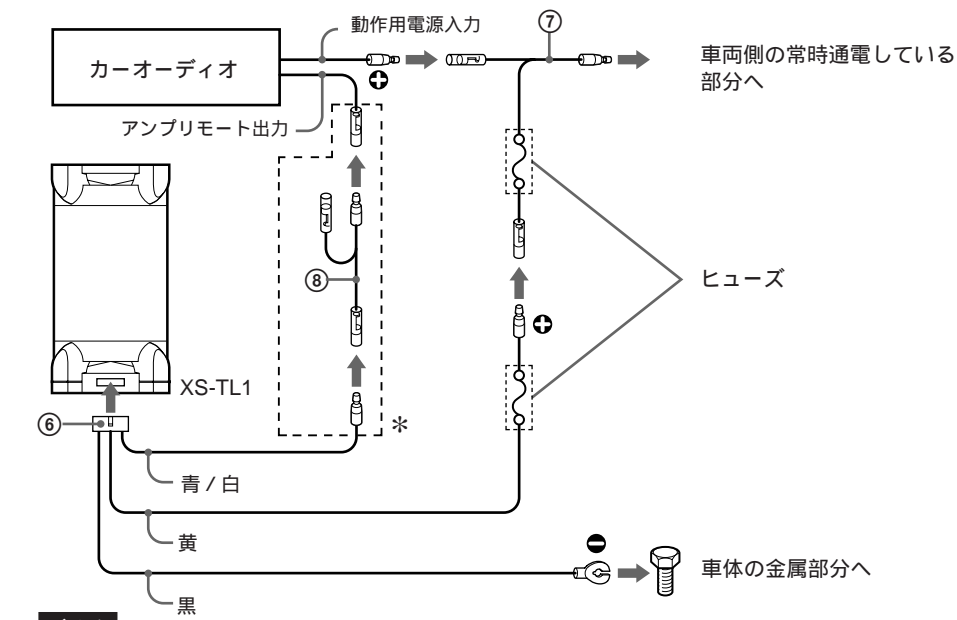
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。
黄色コード	動作電源入力コード 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところにつなぎます。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
青 / 白線コード	本機コントロール用コード

電源接続例

接続例1 Aカーオーディオから電源をとる場合 (ライン接続)

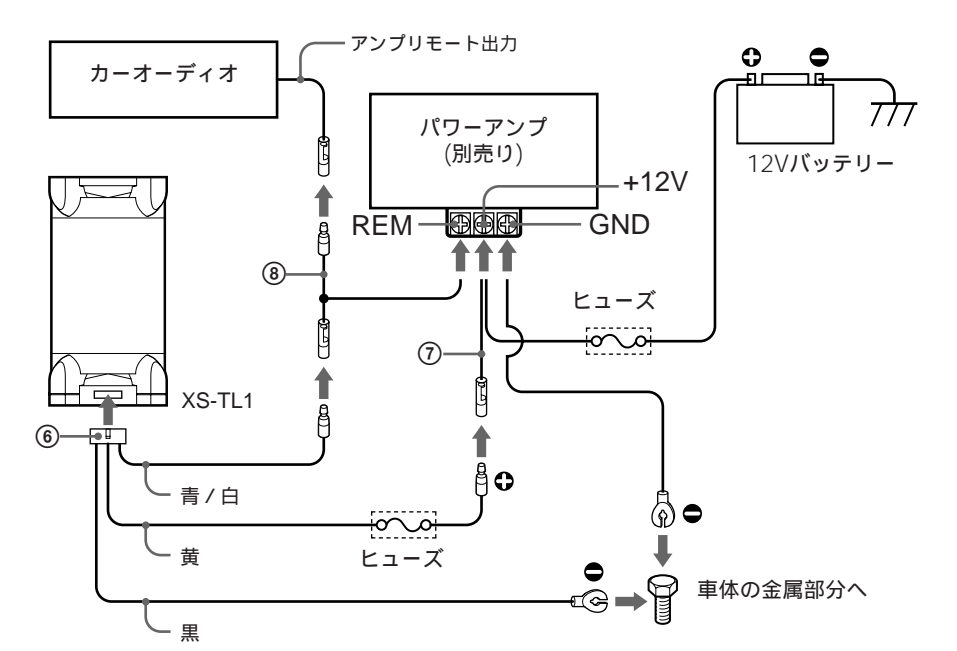


Bカーオーディオから電源をとる場合 (ハイレベルインプット接続)



* **ご注意**
ハイレベルインプット接続を行う場合、アンプリモート出力を接続しなくても音声信号を受信すると、本機は自動的に起動します。但し、入力信号が微弱な場合は、本機が起動しないことがあります。

接続例2 既設アンプから電源をとる場合

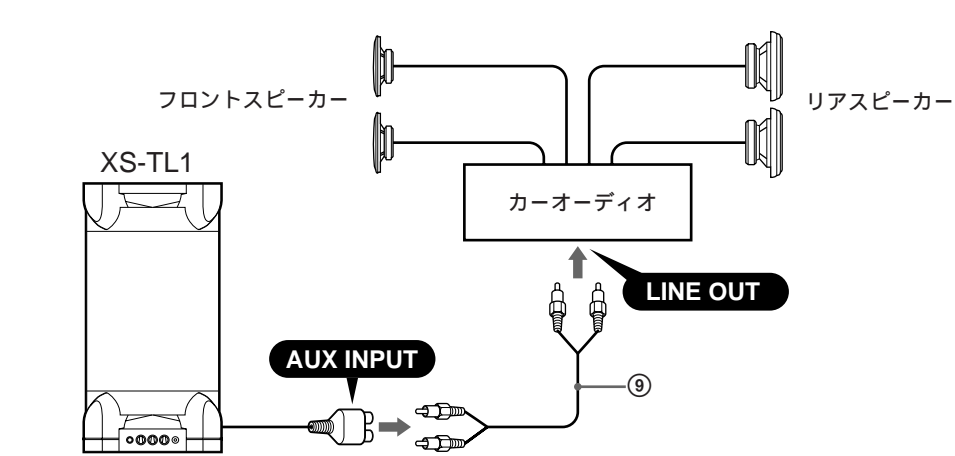


ご注意
パワーアンプの端子台への接続は、接続コードの端子部分を切断して接続するか、または市販の丸型端子を加工して接続してください。

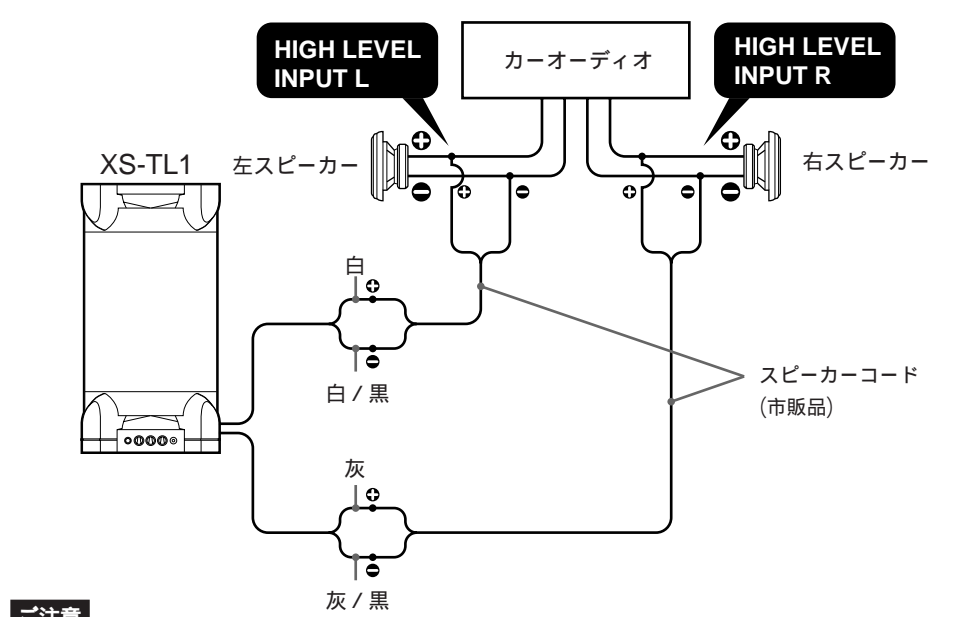
- ご注意**
- 電源コードはすべての接続を済ませてから、一番最後に接続してください。
 - 本機のアースコードを車の金属部分に確実に接続してください。確実に接続しないと、故障の原因になることがあります。

システム接続例

接続例1 ラインアウト出力のあるカーオーディオの場合 (ライン接続)

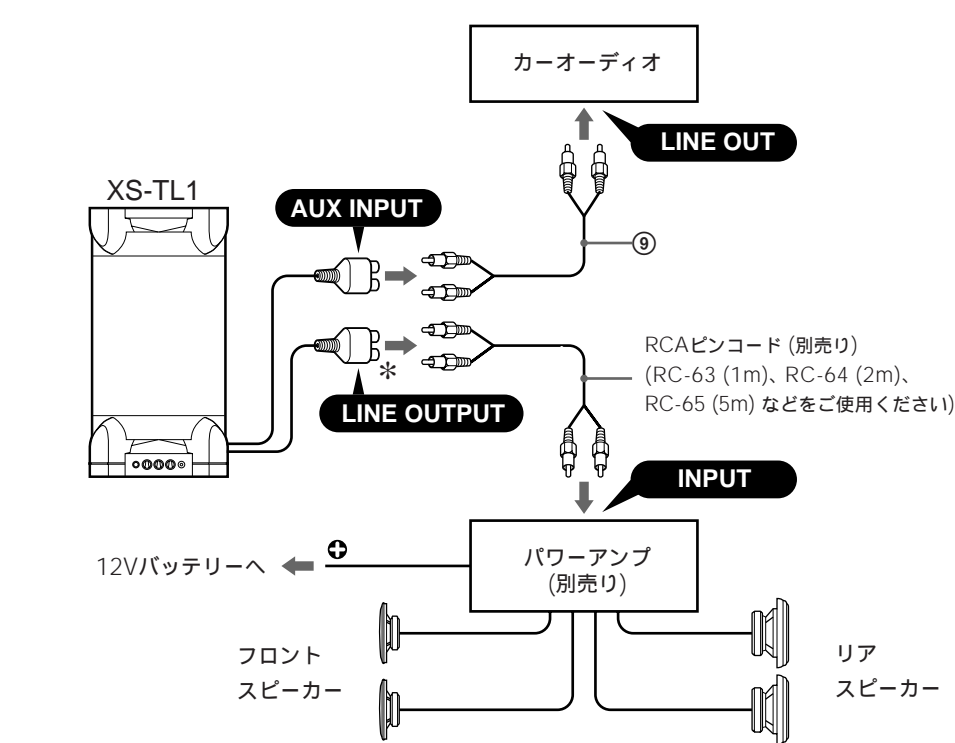


接続例2 スピーカー出力のみのカーオーディオの場合 (ハイレベルインプット接続)



- ご注意**
- このシステム接続を行った場合、本機は音声信号を受信すると自動的に起動します。また、無信号状態が10秒ほど続くと本機の電源が自動的に切れます。
 - このシステム接続を行った場合、本機のラインアウト (LINE OUTPUT) への信号出力はありません。
 - ハイレベルインプットコードを延長する場合は、スピーカーコード (市販品) を使用し、ショート事故がないように確実に接続してください。

接続例3 LINE OUTPUT端子を使用しアンプを増設する場合



* LINE OUTPUT端子はAUX INPUT端子に入力された信号をそのまま出力します。そのためローパスフィルター、ローブーストは機能しません。

ご注意
このシステム接続を行う場合、増設するアンプはバッテリーに直接電源を引いてください。

- ご注意**
- コード類を配線するときは、クランパーや粘着テープなどで固定してください。金属のバリ部分などと接触する場合は必ず粘着テープなどでコードを保護してください。
 - コード類は、ヒーターの吹き出し口の近くなどの高温になる場所を避けて配線してください。
 - 電源コードは、指定されたとおり正しく配線してください。配線を誤ったり、確実に接続をしないと、雑音の原因になるだけでなく正しく動作しません。